

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハナバコ		
○保護者評価実施期間	R8年 2月 16日	～	R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 8	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	R8年 2月 16日	～	R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 11日		
○分析結果			
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月に2～3回クッキングを行っている。→五感が鍛えられるほか、集中力や思考力も高められるメリットもある。	匂い等を嗅がせたりして、五感を鍛えていけるように取り組んでいます。 学んだことを両親に話をして、自宅でも親子クッキングをしてほしいと伝えている。	「食」にたいしてもっと関心を持ってもらえるように、野菜の作り方等の生産の部分も伝えていきたいと考えています。
2	姉妹店(イロドリ)独自で行っているメソッドを使っている。独自で開発したメソッドなので他施設ではマネできないメリットがある。	子ども達の成長に合わせてプログラム内容を変えている。	いままで以上に姉妹店(イロドリ)ともっと連携を深めより良いメソッドプログラムを提供していきたいと思っています。
3	年齢や発達異なる子ども同士での関わりを持つことができる。	年齢に合わせた役割を提案することで、社会化に向けた取り組みを行っている。	年齢に合わせた振る舞いを身につけられるように、身の回りのことへの自立を促す支援を積極的に取り入れていく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	曜日によってスタッフの人数が少ない日がある。	手薄になってしまうので、ちゃんと支援が行き届いているか懸念される。	早急にスタッフの確保をするために、求人媒体などを使ってスタッフ募集の掲載を行っています。
2	保護者様に実際の支援の様子を見ていただく機会が少ない。	支援時の見学体制が整っていない。	イベントなどを通じて、保護者様に支援の様子を見ていただける機会を設ける。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	ハナバコ					公表日	R8年 3月 23日		
						利用児童数	8	回収数	5
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	5						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	2		1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5						
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5						
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4			1			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4			1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3	2					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5						
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	3					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。				5			
保護 者へ の説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1		3	1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	5						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5						
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1		4				
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3		2				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4			1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3			2		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	2		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	5					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	5					
	29	事業所の支援に満足していますか。	5					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ハナバコ				公表日	R8年 3月 23日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		安全に過ごせるように適切なスペースを設定しております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		曜日によってはギリギリの配置基準の場合もあるので、早急にスタッフの確保をしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		ホワイトボードに日々のタイムスケジュールを提示し子ども達に分かりやすく説明をしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		日々の清掃はもちろんのこと、退室時には手が触れる部分や玩具にアルコール消毒を行い子ども達が安全に過ごせるように心掛けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		必要に応じて個別指導室を使用しクールダウンを行うなど状況に合わせて対応しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		研修等を通じて実施しております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティング等を行って情報共有しております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		ミーティングなどを設けて情報共有し業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後検討していきたいと思っております。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		研修等があれば積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		適切に支援プログラムを作成し公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		個々の活動の評価を用いて客観的に分析し、保護者のニーズも取り入れながら計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		計画書を作成する際には、児発管を始め全スタッフで評価会議を行い検討を重ねています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援計画をもとに、ご家族や学校と情報共有し計画に沿って支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		日常の様子や普段とは違う様子などスタッフで共有し支援に繋げています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		計画書には支援のねらい及び支援内容を踏まえ、保護者等と連携しながら子どもの成長に合わせて支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		ミーティングの時に意見を出し合い活動プログラムを検討し実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		スタッフ間で意見交換をしあい、新しい活動を取り入れるようにしている。	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		個々の状況に合わせて個別活動、集団活動を組み合わせ、支援計画を作成しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前にその日行われる支援の内容を確認し役割分担をし連携して支援を行えるように話し合っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後スタッフ間でその日の子ども達の様子を話し合い共有してその後の支援に繋がっています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々、連絡帳や業務日誌を取り支援の検証・改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に一度モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		子ども達が興味を持てるように色々な活動を提供し得意なものを見つけられるように支援しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		子ども達の意見を尊重し自立できるように支援を行っている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		児発管が出席し、その後、全スタッフに共有しています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		各関係機関と密に連携を取り体制を整えています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		研修があれば検討していきたいと思います。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		今後は検討したいと思います。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡帳を通じて子どもの発達の状況や課題について共通理解を図っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族支援プログラムとしては行っていませんが、必要に応じてお伝えさせていただきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		運営規定等を説明する際には、保護様が質問等しやすい環境や雰囲気づくりを心掛けています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意見を聞きご家族の意向を確認してサービス提供に反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者様からの意見等を聞き、同意のもと計画書に反映させています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		相談等があった場合は、面談や助言を行っています。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		状況に応じてイベントや保護者会等を開催し保護者同士やきょうだい同士の交流の場を設ける等の支援をしていきたいと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情等があった場合、管理者が迅速かつ適切に対応できるように整えています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		今後は「ハナバコ通信」などといった物を作成し保護者様に発信出来たらと考えています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		鍵付きの書庫で管理し、その鍵は管理者が責任をもって管理している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		絵カードやジェスチャーなどを使い意思の疎通を図っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招待する行事は行っていません。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルを作成してスタッフに周知しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		月に一回避難訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時に確認しています。変更があった場合もその都度伝えていただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		契約時にアレルギーの有無を必ず確認しています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		月に一回避難訓練を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡先の確認を行い家族等との連携を図れるようにしています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットや事故を未然に防ぐように日々話し合いをしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修などがあれば積極的に参加しています。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		やむを得ず身体拘束を行う場合、保護者様に対しては事前に十分な説明のもと了解を得たうえで個別支援計画に記載いたします。		